

者から応分の負担を求める方法が最適と判断した。今後も開発者負担の原則にのっとり整備を図りたい。②当該事業の活用は考えていない。

**障害者の自立支援のために
区独自の利用料軽減策を**

障害者支援を標榜に掲げながら、自立の道をつぶすものと言える障害者自立支援法だが、荒川区は在宅障害者のサービス利用者負担や通所施設利用者の食事代、重度障害者の負担上限額の軽減策の実施を発表した。中野区でも軽減策を実施する考えはないか。

区長 法のポイントは、国と自治体が責任を持つとともに、利用者が能力に応じて



警察大学校等跡地

条3項の規定に基づく認定は、周辺の状況などを総合的に勘案し、安全上支障がないか判断することであり、公正に実施するため、認定基準を作成し運用することとした。2項に関する国の再審査については、引き続き経緯を見守る。

**子育てと地域を支援する
おむつクーポン制度創設を**



公明党議員団 こししみず 敏明

出生届時にクーポンを受け取り、地元の薬局で利用できるほか、商店街の創意工夫でさまざまな付加価値をつけることのできる「子育て支援おむつクーポン制度」を提案する。使用範囲を乳児が必ず使うおむつだけ、地元商店街だ

けに限定することで、子育て支援と地域振興を確実に結びつけられるこの制度を、ぜひ実施すべきと考えるがどうか。

区長 おむつクーポン券は、手当・現金給付的な要素を持つものであり、子育て支援策全体の中で検討していく

ものと考えている。地域や商店街などと連携した、身近な地域での子育て支援策について、今後研究していきたい。

安全まちづくりを推進せよ

①防災行政無線による児童の安全見守り強化放送を実施しているが、子どもの安全のため、期間を限定せず、継続して実施すべきではないか。

②地震計の更新に併せ、電子メールによる災害情報の区民伝達システムを構築してはどうか。また、外国人に対しては、英文メールを配信することが必要と思うがどうか。

区長 ①緊急に子どもの安全確保を呼びかける必要があり、4月末までの予定で地域見守り放送を実施している。継続については、効果や地域の意見を参考に判断したい。

②現行の災害情報一斉配信システムを活用し、区民が自主的に情報収集できるように運用を検討したい。外国人向けの英文メール配信も検討する。

高齢者の住宅対策を急げ

高齢者の住宅対策として、高齢者円滑入居賃貸住宅登録制度を活用することだが、現在の登録は62戸と少なく、高齢者アパートの転居問題に対処するにも不足している。4年間で140戸増やするという目標達成に向け、どのような取り組みを実施して実現していくのか。宅地建物取引業協会との協力が必要と思うがどうか。

区長 オーナーの理解・協力を求めるため、区報など

での周知に加え、宅地建物取引業協会にも働きかけをお願いした。また、宅地建物取引業協会中野支部の情報をもとに、直接オーナー宅を訪ねてお話しした結果、新規登録の見込みもついてきた。

職員の意識改革を

自由民主党・民社クラブ 佐野 れいじ

地方公務員は、身分保障が強いと言われるが、極端に勤務成績が悪かった場合などは処分が可能である。仕事をしない職員には、給与を下げる、辞めてもらう仕組みも必要である。一生懸命働く人が、バカを見ない制度、明日の労働意欲につながるシステムの構築が、真の改革につながる。

区長 公務効率や公務の適正な運営、職員の働く意欲のうえで、分限処分制度は必要である。しかし、まずは、職員への十分な指導や支援が必要と考えている。

区長 ①厳粛に受け止め、条例を改めたい。②時間内組合活動の範囲を明確にしたい。③一層毅然とした態度で取り組んでいきたい。

**将来を見据えた
採用計画を**

区は、10年後に2千人の職員体制を実現するとしている。人件費率が下がるのは良いが、区職員の平均年齢は現



防災行政無線スピーカー

今後も必要戸数の確保に向け、積極的に働きかけを行う。

在でも45歳と、23区中2番目に高い。これが、10年後には50・4歳となり、硬直した組織になる。10年先を見据えた採用計画をすべきでは。

区長 任期付職員、経験者の採用など多様な任用形態を取り入れ、活力ある柔軟な体制をつくる。また、職員が新鮮な発想とやる気を持つて働けるよう環境整備を進める。

**地下鉄丸ノ内線の
バリアフリー化などを問う**

**鷺宮地域センターは
早期建て替えの決断を**

公明党議員団 久保 りか



鷺宮地域センターの建物は老朽化が目立ち、施設の維持経費も相当額になっている。耐震対策も未実施であり、18年度に耐震精密診断が予定されているが、これは、耐震補強工事を目的としたものか。補強工事の費用対効果を考慮すると、現在地で区民活動センターとして建て替える決断も必要ではないか。

区長 この精密診断は、耐震診断結果がC評価となつたことを受け、耐震改修の有効な補強方法を探るために行うものである。建て替えについては、診断結果を踏まえ、鷺ノ宮駅周辺全体の公共施設の配置のあり方を考える中で検討する。

**鷺宮跡地は
若葉公園とあわせて公園に**

新しい中野をつくる10か年計画では、若葉公園に隣接す



バス停に駐車中の「なかのん」

平成18年3月から2種類のシステムを導入予定である。ターミナル駅バス停に発車予定時刻を電光表示、音声案内するものと、携帯電話で接近情報を検索できるシステムで、携帯電話のシステムでは「なかのん」も検索対象となる。

区長 区でもバスロケーションシステムを導入を要望してきており、関東バスでは、

中野新橋駅、中野富士見町駅などのバリアフリーおよび避難経路確保の進捗はよくは。

区長 中野新橋駅は、20年度の駅舎リニューアルにあわせ、エスカレーターの設置および駅舎と歩道の段差解消を行い、中野富士見町駅は、19年3月を目途に、エレベーターを設置する。また、中野坂上駅の宝仙寺側改札の開設などは検討中と聞いている。

**「なかのん」に
バスロケーションシステムを**

昨年11月から待望のコミュニケーションバス「なかのん」が走り出し、上鷺宮・鷺宮地域から中野への足が確保できたことで地域の方々に大変喜ばれている。しかし交通渋滞でバスが遅れ、運行状況がわかりにくいという問題がある。以前、バスロケーションシステム導入を質した際、区長は「必要性を認識しており、要望していく」と答弁したが、その後、バス会社に対して要望したのか。「なかのん」にバスロケーションシステムを導入してはどうか。

**中央5丁目林野跡地に
児童館・学童クラブを**



自由民主党・民社クラブ 吉原 宏

区は桃園第三小学校・仲町小学校・桃丘小学校の3校を

鷺宮跡所の廃止が計画されているが、地域住民からは、跡地を公園として整備してほしいとの要望が出されている。この地域は公園が狭小であるため、跡地を若葉公園とあわせて整備し、改善を図るべきではないか。